

5月・6月・7月の行事日程一覧

5月6日(土)【ぶら探訪 49】(要申込)
「福山古墳ロード クイズ&スタンプラリー」

5月14日(土)【歴史ウォーク】(要申込)
「歩いて学ぼうわたしたちの福山-深津をめぐる-」

5月27日(土)・28日(日)【一泊旅行】
「大内義隆滅亡の軌跡と長州「萩」産業遺産群」

6月3日(土)【ぶら探訪 50】(要申込)
「田尻を歩く」

7月29日(土)【特別歴史講演会】
「安芸の山城」

5月13日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
5月20日(土)【中世史部会】「中世を読む」
5月25日(木)【古文書解読会】
6月10日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
6月17日(土)【中世史部会】「中世を読む」
6月24日(土)【古代史部会】「古墳講座」

- ◎ 5月の「古文書解読会」は第4木曜日です。
おまちがえなきよう、ご注意ください。
- ◎ 5月の「古墳講座」はお休みします。
- ◎ 6月の「古文書解読会」は現在未定です。

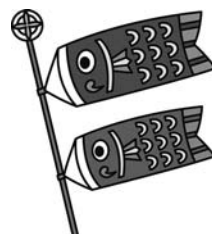
.....
5月14日の【歴史ウォーク】の申込締めきりは
5月5日です。ご注意ください。
今回は特に締切を厳守してください。
よろしくご協力お願い致します。

事務局便り

あれ?今回行事少ない?と思われた会員さんがいたら、ごめんなさい。でも、5月に歴史ウォークと一泊旅行という会の一大行事が入っていますので、6月7月はちょっとひと休みという感じです。夏を乗り切ったら、秋からまたガンガンと例会やります!お楽しみに!◇毎回会報に「例会俳句」を投句してくださる住田保夫さんが賞を受賞されました。おめでとうございます!私見ではありますが、「この句は金賞よりいい!絶対!」とすごく気に入っております。住田さんおめでとうございます。これからもよろしくお願いいたします。◇新会員の皆様へ、会員証の発送が遅れております。今しばらくお待ちくださいようようお願い申し上げます。

2017(平成29)
行事案内
5月号

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。
(会則第1章第2条より)



行事参加のお申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

- ◎公式サイトの参加申込フォーム
「<http://bingo-history.net>」
- ◎事務局へメール
「info@bingo-history.net」
- ◎田口会長宅へ電話
[084-953-6157]

〔備陽史探訪の会事務局〕

〒720-0824
広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX 084-953-6157
E-mail info@bingo-history.net

公式サイト
<http://bingo-history.net>

5月6日(土)

ぶら探訪 49

要
申込

福山 古墳ロード クイズ&スタンプラリー

challenge

1

2006年～2008年にかけて備陽史探訪の会が福山魅力づくり事業の一環として福山市と協働で設置した「福山古墳ロード」。このA～Cコースのスタンプラリーが始まります。チャレンジ1はAコースです。スタンプ全部集めて古墳ロードをコンプリートしよう☆各ポイントではクイズも出題。お子さんには「古墳博士」認定証も発行します。

【集 合】 午前9時 ※雨天の場合は秋に延期
JR福塩線近田駅
(8:17 福山発があります。)

【参加費】 会員大人・子ども 200円
一般大人 300円

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※近田駅～服部大池まで全長3.3kmです。
※解散は服部大池(12時頃の予定)
帰りは服部大池より駅家駅まで1km歩きます。

探訪の会、初の試み！
お楽しみスタンプラリー
始まんだよ～☆
お子様には「古墳博士」
の認定証も！



びんご歴史クイズ 23

↓点線で切り取ってハガキに貼って応募してください。

- ① 大迫金環塚古墳の名称の元となった出土品は次の内どれでしょうか？
イ) 首輪 ロ) 腕輪 ハ) 環頭柄頭 ニ) 耳輪
- ② 応仁の乱で東軍に味方した備後の武将は誰でしょうか？
イ) 長尾隼人 ロ) 山名是豊
ハ) 山内豊成 ニ) 山名理興
- ③ 水野勝成が築城の候補地としなかったのは、どこでしょうか？
イ) 常興寺山 ロ) 箕島
ハ) 王子山 ニ) 桜山(亀寿山とも)
- ④ 現福山市内に存在しなかった「村」は、次の内どの村でしょうか？
イ) 小原村 ロ) 加法村 ハ) 御野村 ニ) 笹尾村
- ⑤ 備陽史探訪の会が福山市と協働で整備した福山古墳ロードに含まれていない古墳はどれでしょう。
イ) 二子塚古墳 ロ) やぶろ古墳
ハ) 刈山古墳 ニ) 北塚古墳

びんご歴史クイズ全問正解者に「ぶら探訪参加券」をプレゼント！6枚綴りになっており、しかも、会員・一般共通という太っ腹企画！（但し、換金、転売はご容赦を！）

全問正解者が多い場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

○応募申込は

事務局宛てにハガキで応募、
(左の点線で切り取って答えに○してハガキに貼ってください。)

もしくはインターネットの公式サイト
の応募フォームから

※電話での受付はありません。

○応募締め切りは

5月20日(土)まで

※正解と当選者の発表は会報195号
で。

歩いて学ぼう わたしたちの福山 — 深津をめぐる —

クイズ参加者・優秀者には賞品・参加賞
があります。(但し対象は高校生まで)

共催 深津学区まちづくり推進委員会
備陽史探訪の会
後援 福山市教育委員会



薬師寺由来

- ★開催日 5月14日(日)
※小雨決行・大雨中止
- ★集合場所 深津公民館
- ★受付開始 午前8時10分
開会式・出発8時30分
(受付時間までにご集合
下さい。)

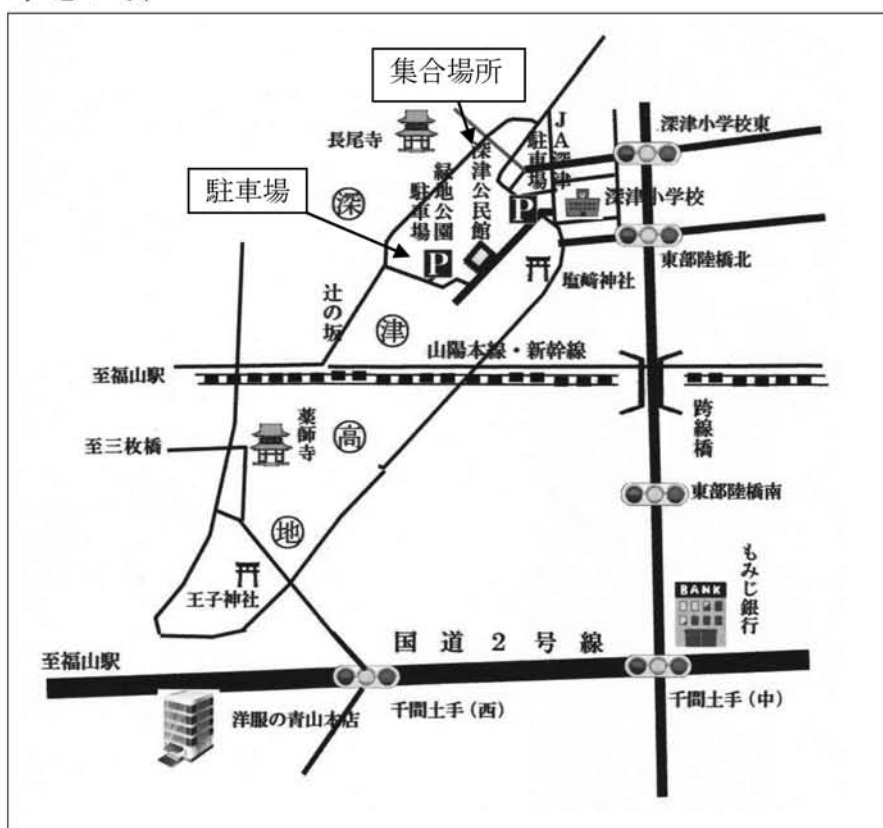
雨の場合のお問い合わせは
開催幹事 高木 090-7131-6412
" 種本 090-6431-7753
備陽史探訪の会 084-953-6157

- ★解散 12時
(深津公民館)
- ★駐車場 緑地公園・
JA深津

- ★主な見学先
塩崎神社・王子神社・
福山累層・薬師寺・辻の坂・
翠松館跡・長尾寺・道標・
深津囃

- ★参加費 100円
*但し、高校生まで並びに
深津学区内の大人は無料

- ★申し込み先・期限
・備陽史探訪の会
(084-953-6157)
、<http://bingo-history.net>



- ・ 5月5日まで ※深津学区にお住まいの方は深津公民館の方でお申込ください

- ★子どもさんは回答を書き込むため、必ず、筆記用具をご持参ください。

5月27日(土) 28日(日)

一泊旅行

大内義隆滅亡の軌跡と 長州「萩」産業遺産群

世界遺産

毎年恒例の一泊旅行、昨年は南に進路を取りましたが、今年は「西」の山口県が探訪地。備後戦国史ともかかわりが深い戦国大名大内義隆滅亡の跡と、世界遺産に認定された「明治日本の産業革命遺産」の内、長州萩に残る遺産を訪ねます。ご期待ください。

予約
金制

要
申込

- 【集 合】 午前7時
福山北口観光バス乗り場※雨天決行
- 【参加費】 28,000 円 (会員)
30,000 円 (一般)
- 【募集数】 40 名 (一泊4食付)
- 【講 師】 田口 義之 (会長)
- 【主な見学地】

- ◎大内氏館跡 (山口市)
(守護大名から戦国大名に成長した大内氏の居館跡で、発掘・復元作業が進められており、土塁・西門・庭園などが復元整備されている(国史跡「大内氏遺跡」)。
- ◎瑠璃光寺 (山口市)
(大内義弘・盛見兄弟が創建した香積寺の遺跡で、江戸時代、毛利氏が香積寺を長州萩に移した跡へ、陶氏の菩提寺であった仁保瑠璃光寺をこの地に移し、現在の曹洞宗瑠璃光寺となった。国宝の五重塔は大内盛見が兄義弘の菩提を弔うために創建したものである。)
- ◎萩の世界遺産「明治日本の産業革命遺産」(萩市)
(2015年に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の内「萩の産業化初期の遺産群」萩反射炉・恵比寿ヶ鼻造船所跡・萩城下町・萩城跡(国史跡・日本100名城)など)
- ◎大寧寺 (長門市) その他
(大内氏一族鷲頭弘忠が曹洞宗の名僧石屋真梁を開山に招いて創建した寺院。天文20年(1551)9月、陶隆房の謀反によって追い詰められた大内義隆が自刃した場所として有名である。)

【宿泊場所】 萩グランドホテル「天空」
(萩市古萩町25 電話 0838-25-1211)

【その他】
※ 28日午後6時半頃、福山駅北口に帰着予定です



萩の産業遺産群

萩エリアは時代順に1番目のエリアで、萩城下町、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、松下村塾の5つの資産で構成されます。今回は、萩城下町、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡を見学します。

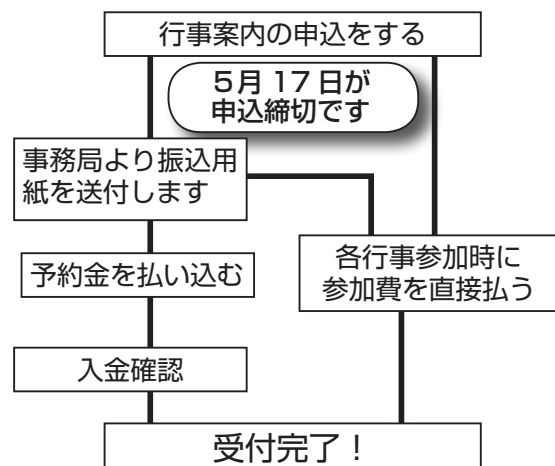
幕末に西洋技術を取り入れ産業化や産業文化形成の舞台となった地域の全体像と特徴をよく表した地域です。



大内義隆とは

戦国時代、西国最強の戦国大名と呼ばれた大内氏の最後の当主が大内義隆です。義隆は父義興の跡を継ぎ、九州や中国地方に領土を拡大し、一時は上洛して天下に号令する野望を抱きましたが、最後は、重臣であった陶隆房の反逆で長門の大寧寺に逃れ、ここで自刃しました。「末世の道者」と呼ばれ、文芸に秀でた大名として知られ、神辺城を攻め落とすなど、備後の政情にも深くかかわりました。

申込方法は他の行事とは異なります。
予約金1万円確認後受付が完了です。



5 月 30 日(火)

分布調査

中世石造物調査

五月は、東村町を調査します。
事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

【集 合】 午後 1 時 30 分
松永支所 駐車場
(松永町三丁目 1 番 29 号)
(西部市民センター)

要
申込

【その他】

※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。
※なお、次回 6 月 24 日(土)は新市町で実施する予定です。

中世石造物調査はどなたでも参加できます。知識がなくても OK! 興味のある方はぜひご参加ください。特に調査地域にお住まいの方は大歓迎です。「ここに、こんなものがあるよ」みたいな情報提供も、よろしくお願いします。

情報BOX

「福山の日本遺産認定を目指す会」主催

「憩亭を訪ねて」

田口会長が音頭を取った福山の日本遺産認定を目指す会は、2月に枝広福山市長に「菅茶山と憩亭」をメインテーマに日本遺産認定を目指すように提言しましたが、同会では6月11日(日曜日)に菅茶山の廉塾と憩亭を訪ねる行事を予定しています。憩亭は四本柱吹き放ちの簡単な建物で、菅茶山が「我が国にのみ多く存在し、他国には稀な施設」と喝破した我郷土の誇るべき文化遺産です。詳細は6月の会報でお知らせいたしますが、この機会に是非「憩亭」について学んでもらいたいと思います。



と読むのが正しい。
足利氏の支族洪川氏は、室町幕府の九州統治の機関であった九州探題を歴代世襲してきたが、16世紀を迎える頃には、大友氏をはじめとする九州の大名に圧迫されほとんど虚名を擁するのみとなっていた。この状況にその末裔であった洪川義陸は見切りをつけ、南北朝時代から備後にあった洪川氏領を拠点に勢力拡大を目論んだ。義陸をはじめ、南北朝時代からの洪川氏の拠点であった八幡町宮内の勝山城に拠っていたが、戦乱に備えて東方の峻険な山岳に大規模な

見所 三原市八幡町の南の聳える標高660メートル余の竜王山から北東に伸びた尾根の先端に築かれた山城で、山頂を2段に削平して本丸とし、本丸と竜王山側の鞍部に多数の曲輪を築いて城郭としたもので、本丸と鞍部の曲輪群との間は大規模な堀切と土塁によって遮断している。本丸の比高は400メートルに達し、北麓には洪川氏の菩提寺蓮台寺が存在する。鞍部の曲輪群は面積も広く、井戸や泉水の跡も残り、この部分に洪川氏の居館があったものと推測される。

所在地 三原市八幡町美生
比高 約四〇〇メートル
築城者 洪川義陸

田口義之の
備後山城
50選15

「今探題」洪川氏の本拠
小童城跡

◎山城としての評価B
◎登り易さD
◎分り易さB

山城を築いて本拠を移した。これが小童城である。
洪川氏は、義陸・義正・陸景(義満とも)の三代に亘ってこの城に居城し、「今探題」として周辺国人衆に崇敬されたが、陸景に子がなく、天正元(1573)年、その死去と共に断絶、城は廃城となった。

備後歴史研究会新聞

第13号

会員の住田保夫さんが

「おのみち俳句まつり」で入賞！

会報「備陽史探訪」の「例会俳句」でお馴染みの会員の住田保夫さんが、このたび、「第11回おのみち俳句まつり」に入賞されました！

「尾道」と言っても応募は、全国から。福島県、神奈川県、福岡県など各地から応募があったようです。

そして投句数一二五九句のうち、俳句大賞一名、金賞二名、銀賞二名、銅賞三名、尾道市長賞・尾道商工会議所会頭賞・尾道観光協会会長賞各一名。

その中で、住田さんは見事銀賞に輝きました。

表彰式は四月十日に尾道市立美術館で行われました。その後、選者の鷹羽狩行先生らと交え昼食会があったそうです。

また、三月十八日～四月十六日には千光寺公園で掲出されていたよう

です。残念ながら行くことができません。写真がありません。詳しい話は例会参加した時、住田保夫さんに聞いてみてくださいね。

これから会報に掲載される住田さんの例会俳句に、注目してみてください！

それでは、期間中千光寺公園に行っていない皆様のために、銀賞受賞した住田さんの句をご紹介します。尾道の情景がさあと目の前に広がります。さすがです！

第11回おのみち俳句まつり銀賞受賞作品 おめでとうございます！

鐘の音に乗りてひろぐる花吹雪

住田 保夫

備陽史研究第25集

完売！

またしても新聞各社に取りあげていただき、瞬く間になくなっていました。もともと、会員には無料

配布されていますので、一般に頒布される数は少なかったのですが、書店からも追加注文が来るほどの好評ぶりでした。

中国新聞 2017 年 (平成 29 年) 3 月 21 日 (火曜日)



備陽史探訪の会 論文集発行

「穴の海」憩亭」郷土史に探る

備陽史探訪の会(田口義之会長)は、会員の論文集「備陽史研究」の第25集を発行した。古代、福山市にあったとされる水域「穴の海」や、江戸期の儒学者菅茶山が「憩亭」と呼んだ辻堂の名称に関する考察など5本の論文をまとめた。

会員の瀬良泰三さん(66)同市野上町は「穴の海」の範囲や変遷を研究した。穴の海は江戸期の村誌などから辻堂は「堂」や「四ツ堂」と呼ばれ、厳格な区別はなかったと考察。一方「憩亭」は形態と目的を明確にした名称で、壁がなく、旅人が休み、人々が集まる場所という意味があったとする。

瀬良さんは地層などから、古代以降の市内と神辺平野の地形の変遷や芦田川の流路を推定。穴の海は芦田川の流路を兼ねた淡水湖で、神辺平野にあったと結論づけた。瀬良さんは「痕跡を積み上げ、穴の海の実態に近づけた」と語る。

辻堂の名称を調べたのは、田口由美さん(55)同市多治米町。江戸期の村誌などから辻堂は「堂」や「四ツ堂」と呼ばれ、厳格な区別はなかったと考察。一方「憩亭」は形態と目的を明確にした名称で、壁がなく、旅人が休み、人々が集まる場所という意味があったとする。

6 月 3 日(土)

ぶら探訪 50

田尻を歩く

要
申込

神武天皇が東征の途中に数年間滞在したという、「吉備の高島」の比定地であり、また、水野勝成にまつわる史跡が残る田尻町を訪ねます。

【集 合】 午前 9 時

高島小学校 (田尻町 2248) 横の
高島公民館の駐車場

※公民館とは離れていて小学校のそば。
右の地図参照してください

※バスは福山駅前発 8 時 20 分の
鞆行に乗り、「資料館前」で下車
東へ 160 m)

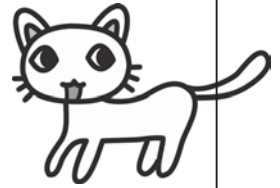
【参加費】 100 円 (会員) 300 円 (一般)

【講 師】 種本 実 (近世近代史部会副部長)

【主な見学地】

○高島八幡神社 ○風呂神社 ○御船入り座床跡
○金鶏塚跡 ○田尻民俗資料館

【その他】 ※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。



集合場所へは
高島小学校を目指し
てください。
小学校の西側 (裏門
横) になります。



7 月 29 日(土)

特別歴史講演会

「安芸の山城」

秋本 哲治 氏

(安芸高田市歴史民俗博物館学芸員)

◇午後 2 時～3 時半

◇ふくやま草戸千軒ミュージアム
地下講堂

(広島県立歴史博物館 福山市西町 2-4-1)

※秋本哲治氏は著作に『安芸高田お城拝見～山城 60 ベストガイド～』などがあるように、新進気鋭の山城研究家です。どんな話が聴けるか楽しみにしてください。詳しい内容について会報 196 号にて紹介する予定です。

書籍紹介

芸高田お城拝見

～山城 60 ベストガイド～

編者：安芸高田市歴史民俗博物館

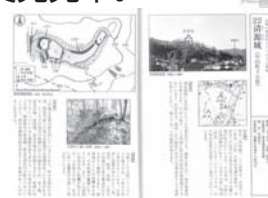
発行：2015 年 11 月 23 日

安芸高田市歴史民俗博物館学芸員が 6 年間にわたり、市広報紙に連載してきた、シリーズ「お城拝見」が書籍になりました。安芸高田市の山城 60 箇所が地図・写真・縄張図で紹介されています。【立地】【歴史】【城郭】【考察】など各山城のわかりやすく解説されています。

A5 版、オールカラー

140 ページ、1,200 円

安芸高田市歴史民俗博物館
窓口にて絶賛発売中。



古代史部会	中世史部会	近世・近代史部会
「古墳講座」 5月の「古墳講座」はお休みします。 次回は6月です。 お楽しみに！  備陽史探訪の会 公式ゆるキャラ いっちゃん	「中世を読む」 (第349回) ◆ 5月20日(第3土) 午後2時～ ◆ 福山市民参画センター ◆ 講師 杉本憲弘(部会長) ◆ 内容「9月の徒歩例会事前学習を兼ねて 草戸の城館について」 ◆ 6月17日(第3土) 午後2時～ ◆ 福山市民参画センター ◆ 講師 瀬良泰三 ◆ 内容「中世福山の姿を探る」 	「近世福山を読む」 (第51回) ◆ 5月13日(第2土) 午前9時45分～ ◆ 福山市民参画センター ◆ 講師 河本正二(近世近代史部会) ◆ 内容「今津宿本陣と脇本陣」 今津宿脇本陣蓮花寺についての説明と、今津宿の旧幕時代の絵図、並びに今津宿の各量数をあらわした図面など今津宿関連の新しい資料を説明します。また今津宿の果たした役割などについて考えます。 ※会報 195号では根岸尚克講師の予定でしたが、都合のため変更しています。 ◆ 6月10日(第2土) 午前9時45分～ ◆ 福山市民参画センター ◆ 講師 高木康彦(部会長) ◆ 内容「消えた! 勝成入封前後の城地周辺の中世大寺院 一常興寺・永徳寺一」 水野勝成が備後入封前後には城地周辺には諸山の格式をもつ常興寺・永徳寺という中世の大寺院が在りましたが、築城前後に消滅、代わって胎蔵寺、韜光寺と云う新たな寺院が出現します。

古文書解読会

◆ 5月25日(第4木) 午後7時～

◆ 場所 福山市民参画センター

【内容】「河本家文書」

初回のみ

**要
申込**



※テキスト代別途必要です。
※新規受付は会員のみ。
※6月以降の予定は未定です。

5月は第4木曜日です。お間違えなきように！

上記各部会の講座や古文書講座は参加費 100 円を頂いております。よろしくご協力くださいませ。別途費用がかかる場合もあります。(資料コピー代など)

史 備陽史探訪の会

【事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>

会報 196 号原稿募集！

6月発行の会報 196 号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。5月16日(火)までに事務局編集部まで。規定は16文字×120行。(論文・論考は16文字×244行程度)